

Japan Focus/沖縄大学地域研究所フォーラム

沖縄は、どこへ向かうのか

日時 2010.12.19 (日) 10時~17時
場所 沖縄大学 3-101教室 (無料)



「沖縄は、どこへ向かうのか」

2010年、県内外の情勢が大きく変動するなか、この問いが新たな重要性と意義をもって、沖縄に投げかけられています。私たちはこの問いにどう答えるのでしょうか。そしてその答を、日本、米国、アジア、そして世界へとどう伝えていけばいいのでしょうか。

本フォーラムは、沖縄県知事選挙の結果や、エスカレートする「尖閣諸島」の「国家間/政治問題化」に焦点を当て、さらに名古屋で行われた第10回生物多様性条約締約国会議(COP10)の経験を踏まえ、「沖縄は、どこへ向かうのか」の問いに市民・住民の立場から答えていく試みです。

知事選挙を通して示された沖縄の民意はどうか。「尖閣諸島問題」を住民や市民の経験や視点から捉えることはできるのか。そしてCOP10への取り組みから見えてきた市民の可能性と課題とはなにか。

国家や国際政治の枠組みを越える沖縄の存在や民意と、その重要性について議論する大事な機会になると思います。多くの方々のご参加をお待ちしています。

セッションI
10:00~/COP10以後の沖縄:「生物多様性」に市民はどう取り組むのか
キーワード 環境・生物多様性をめぐる連携と乖離(沖縄、本土)、国際社会への関わり
パネリスト 桜井 国俊(沖縄大)、河村 雅美(沖縄BD)、吉川 秀樹(沖縄BD)

セッションII
13:00~/「9.7」以後の沖縄:「尖閣諸島問題」を沖縄から問い直す
キーワード 「国家間対立化」という問題、民衆交流によるアジアとの共生
パネリスト 新崎 盛暉(沖縄大)
ガバン・マッコーマック(オーストラリア国立大学)、その他調整中

セッションIII
15:00~/11.28以後の沖縄:知事選後の沖縄はどこへ向かうのか
キーワード 日米沖の関係-普天間、辺野古、グアム、脱基地と沖縄の自治と自立
パネリスト 佐藤 学(沖縄国際大)、吉田 健正(元桜美林大) ※予定 その他調整中

懇親会 17:00~

- 主催
- アジア太平洋ジャーナル: ジャパンフォーカス (The Asia-Pacific Journal: Japan Focus)
沖縄に関する情報と分析を世界に発信し、2008年に琉球新報社の第一回池宮城秀意賞。代表はマーク・セルデンとガバン・マッコーマック。
 - 沖縄大学地域研究所

- 協力
- 沖縄・生物多様性市民ネットワーク(沖縄BD)

- 連絡先
- 後藤(沖縄大学地域研究所) goto@okinawa-u.ac.jp
TEL:098-832-5599 FAX:832-3220
 - 吉川(沖縄BD) yhideki@cosmos.ne.jp
TEL:090-2516-7969

アクセス図 「沖縄大学前」下車 徒歩1分



※ご注意...駐車場は上図にございます「長田第一駐車場」「長田第二駐車場」「国場駐車場」をご利用ください。なお、駐車スペースに限りがございますので、公共交通機関ご利用のご協力をお願い致します。